

# 「エコ！！で御用聞き」プロジェクト



2011年8月9日

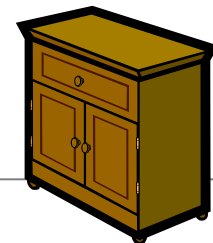
NPO法人 エコ・レボリューション

理事長 北村 憲正

珍菜園 廣瀬 隆保

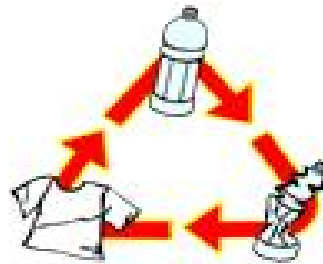
# 地域の課題やニーズ

- ★大型ショッピングモール等の増加に伴い、町の小規模小売店が淘汰され移動手段に乏しい高齢者や障害者が日常の買い物に苦勞している
- ★身近な困り事の相談窓口が判りづらく、また案件単位に窓口が異なるため、高齢者が現状を納得せざるを得ないことが多く、ワンストップサービス化が望まれている
- ★家庭内にある休眠資産や粗大ゴミの処分が困難で、生活環境が悪化していても運搬手段がなく放置されている



# 事業の目的

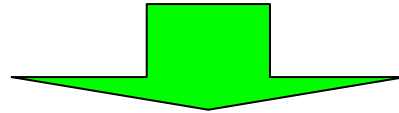
- ★地域住民に新鮮で安価な規格外野菜や果物、県内名産品等の産直提供
- ★地域住民の困り事の相談窓口ならびに行政への提案
- ★地域住民の協力による休眠資産の売却や廃棄の代行、リサイクルユースの掘り起こし
- ★就職困難者である高齢者、障害者の積極的な雇用の推進



# 事業の内容と効果

## 【事業内容】

- ★軽自動車による地域巡回型の移動販売を核とし、宝塚市内産の規格外野菜・果物を中心に無農薬、有機栽培のもの等、日常では手に入りにくい、こだわりの一品も安価にて販売する。次のステップとして、弊社の最寄り駅である阪急清荒神駅近くに倉庫兼店舗も構える
- ★すべての商品を産地直送することにより流通経路の短縮によるCo2の削減と仕入原価の圧縮による安価販売の実現
- ★車両の黒板および店舗の壁に「売ります・買いますコーナー」を設け、ご家庭の不用品の売買、交換を促進し、遊休資産を有効活用する
- ★地域を巡回しながらその地域独自の特にお年寄りの困り事を聞きだし、それらを解決することにより住みやすい街創りを実現する



## 【効果】

- ★Co2の削減と地域住民の環境問題への意識の向上
- ★買い物に不自由な高齢者や身障者に日常食品(特に野菜・お米等の重量物)の提供
- ★高齢者や障害者の雇用促進
- ★地域住民、特に高齢者の困り事のソリューション

# 地域資源の活用

## 【物的資源】

- ★宝塚市内産野菜・果物のうち規格外のものを安価に仕入れて、安価で販売する
- ★県内のこだわりの一品、無農薬野菜・有機栽培野菜・地酒・お米の産直販売による流通コストの圧縮分を販売価格に反映させる
- ★地域住民参加型の不要物の持ち込みや弊社による引き取り、自治会館掲示板や車内壁新聞をうまく利用して物々交換等によるリサイクル意識の向上と「もったいない精神」の啓発

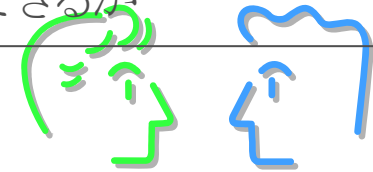
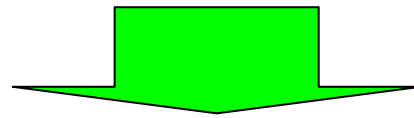
## 【人的資源】

- ★宝塚市高司町、西谷地区に拠点を持つ農家の産地直売店舗の販売ノウハウの継承と立ち上げ時の店舗応援
- ★大阪黒門市場に店舗を持つ宝塚在住の役員による販売員の人的協力
- ★スポーツクラブ21宝塚のメンバー及び自治会員と協働し、各ご家庭へ規格外野菜や果物、県内こだわりの産直特産品の移動販売のお知らせや、不用品の廃棄や買取りを行っている「エコ！！で御用聞き」プロジェクトのチラシの回覧やポスティング

# 課題と解決方法

## 【課題】

- ①規格外野菜・果物や県内のこだわりの一品が定期的に定量の仕入をすることが可能か
- ②移動販売の駐車スペースや仮店舗式スペースの確保が可能か
- ③旨く地域住民の困り事を発掘し、継続的な生活環境の改善ができるか



## 【解決方法】

- ①-1. 賛同いただける農家の開拓を継続し、品薄時にも補完できるよう体制の確立
- 2. 他府県の大坂事務所に規格外野菜の販売先農家やこだわりの一品の仕入先を斡旋してもらうことにより規格外野菜や特産品の仕入の安定化を図る
- ②-1. 自動車による移動販売時は大型集合住宅を中心に販売日時をシフトする
- 2. 各自治会長にお願いし、定期的に自治会館を使わせていただけるよう交渉する
- ③-1. こだわりの一品の販売を通じてエコ・レボリューションのファン作りを拡大し、信頼度を高め、地域住民が気軽に身の周りの困り事相談ができる存在となる
- 2. 「買い物弱者」には電話で注文を受け付けて自宅へ配達し、簡単な困り事についてはその場で解決する



# 従事者雇用見込み

1年目	従事者数		3人
	内訳	有償従事者	1人
		無償従事者	2人
2年目	従事者数		3人
	内訳	有償従事者	2人
		無償従事者	1人
3年目	従事者数		3人
	内訳	有償従事者	2人
		無償従事者	1人

有償従事者	臨時雇用	シルバー人材センター・障害者支援センターより紹介いただく(店頭販売等、事業の補助)
無償従事者	理事長	北村 憲正(広報活動、営業活動)
	ボランティア	中村 剛 (店頭販売等、事業の主任)

# 事業を継続していくために

- ①こだわりの一品の販売を通じてエコ・レボリューションの**ファン作りを拡大する**
- ②**「買い物弱者」には電話で注文を受け付けて自宅へ配達**し、簡単な困り事についてはその場で解決する
- ③**会員制とし、年会費(3,000円/年)**をいただき事業の基盤を固める
- ④**困り事のランク付けをし、メニューを作成**して手間のかかる作業や本職に委託せざるを得ないものについては別途料金をいただく
- ⑤**店舗を早期にオープンさせ、集い場的雰囲気**のなかで、忌憚のない意見交換ができ、潜在的な困り事を引き出し、解決することによる地域住民の生活環境の向上とエコ・レボリューションへの信頼度のアップを図る



# ご来場写真(1)



## ご来場写真(2)



# 投函された困り事

住所: 宝塚市川面 4-1- \_\_\_\_\_

氏名: Aさん \_\_\_\_\_

電話番号: \_\_\_\_\_

困り事: 粗大ゴミの処分が、困ります。

住所: 宝塚市川面 3-A- \_\_\_\_\_

氏名: Bさん \_\_\_\_\_

電話番号: \_\_\_\_\_

困り事: 使用済み古い新品のマナーシートを  
送るため交換したい

来場者41名中2名の困り事の投函がありましたが、いずれも高齢者の身近なもので健常者には気が付かない潜在的な問題があることを実感しました

※Aさんの困り事は7月28日にクリーンセンターに持ち込み、解決しました